

数学

旧課程と新課程の分野

	旧課程	新課程
数学 I	方程式と不等式 図形と軽量 二次関数	数と式 図形と軽量 二次関数 データの分析
数学A	平面図形 集合と論理 場合の数と確率	場合の数と確率 整数の性質 図形の性質
数学 II	式と証明 高次方程式 図形と方程式 いろいろな式 微分・積分の考え	いろいろな式 図形と方程式 指数・対数関数 三角関数 微分・積分の考え
数学B	数列 ベクトル ※統計とコンピュータ ※数値計算とコンピュータ	数列 ベクトル ※確率分布と統計的な推測
数学 III	極限 微分法 積分法	平面上の曲線と複素数平面 極限 微分法 積分法
数学C	行列とその応用 式と曲線 確率分布 統計処理	※基本的に出題されない範囲

新課程のポイント！！
 データの分析、整数の性質、複素数平面が追加、行列が消滅
 条件付き確率が数学Aに移動し、受験数学では必修になった
 期待値が数Bに移動し、受験数学ではほぼ不要となった
 全体的に量は増え、中学範囲なども一部高校内容に追加
 数Cがなくなり、数Ⅲの範囲が広がった

旧課程と新課程の主な変更点(変更があった分野のみ記載)

